



森のなかま

2025 年 12 月号

NO. 210 (継続 355 号)

NPO 法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 黒川 敏史
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL 046-297-0301・Fax 046-297-0302

【森林技術部会主催】 枝打研修会

日 時：令和 7 年 9 月 14 日 (日) 9:30～14:30 曇り、朝のうち霧

場 所：箱根町畑宿 県有林

講 師：斉藤⑬、岩田⑭ (統括)

参加者：滝澤⑤、野牛⑧、真貝⑪、久次米⑬、中澤⑬、野口⑭、森本⑭、三浦⑭、鈴木⑮、田中⑮、
廣瀬⑮、藤巻⑮、渡邊⑮

2025 年度の枝打研修会が箱根町畑宿の県有林にて、15 名 (含む講師 2 名) が参加して開催された。9 月半ばでも真夏日が続いていたが、旧東海道のつづら折りを上につれて雲行きが怪しくなり、一時は流れる霧に周囲が包まれ活動できるか不安になる天候だった。

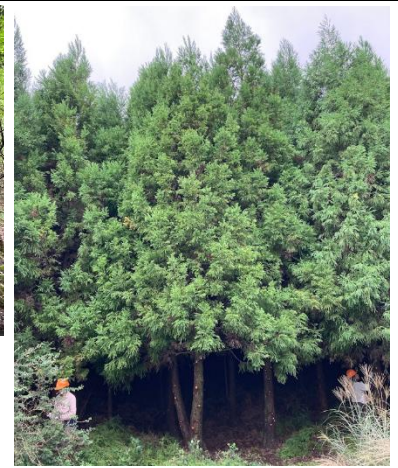
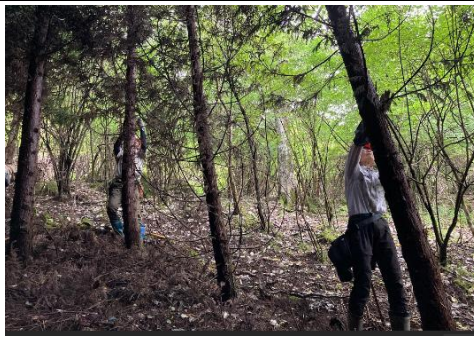
畑宿の現場は肌寒さを感じるものの霧の影響はなく研修を開始。まずは枝打ちの意義や実施する季節、枝を切る位置と手順等を岩田講師が対話形式で 1 時間弱かけて入念に説明。今回は使用しなかったが、今後の県民参加や養成講座等を念頭に、ハシゴを使った枝打ち作業の基本動作や注意事項の確認も行い、2 班に分かれて実技に入った。

現場の杉林は敷地周囲の 1、2 本を残して既に枝打ち実施済だった。今回は現場への出入り口を含めた林縁の枝打ちを実施。暗い林の中は、繊細で丁寧な仕上がり求められる枝打ちには厳しい条件だった。しかし、隣同志で声を掛け合いながら作業を進めていくうちに林の中に少しずつ光が差し込んで来るのを実感できた。

昼食を挟んで作業を行い、2 時過ぎから枝打ち本数を報告するとともに実習の感想や疑問に感じた点等について皆で話し合った。杉は檜よりも枝座 (枝溜) が小さく、薄暗さも手伝い、「枝座と樹皮の区別がつかず、どこで切るべきか迷った」、「切り口を切り直すのは容易でなかった」との感想が複数出た。

また、「枝打ち方法を参加者へどう伝えるかが難しい」との声もあった。林の所有・管理者の意向や木の利用目的により優先すべき手法は変化すること。まず大まかな手順や、切り残しがないよう、枝打ちした木の周囲を手で触って確認すること等を伝える。参加者に実践してもらいその場でチェック。修正の必要があれば伝達するやり方が良いのではないかと、との合意に至った。現場から東海道路に出る手前で道端に咲く Lindo 科の アケボノソウ の白く可憐な花を觀賞してから帰路に着いた。





(記 廣瀬 啓一⑱、写真 斉藤 夏葉⑬)

【森林技術部会主催】 2025 年度 間伐研修会②

日時：令和 7 年 9 月 28 日（日）9:30～14:30 曇り

場所：箱根町畑宿 県有林

講師：真貝⑪、高谷⑰、三浦⑰

参加者：井出①、滝澤⑤、斉藤⑬、岩田⑭、鈴木(淳)⑭、石垣⑮、大森⑯、久慈⑯、久次米⑯、中澤⑯、小池⑰、小林⑱、鈴木(圭)⑱

天候にも恵まれ、県民参加の森林づくりやネットワーク活動でのインストラクターを控えた人を含め 13 名が箱根町畑宿のフィールドで間伐作業の研修会に参加し、快い汗をかいた。

初めに森林技術部会長の 14 期岩田さんから、事前に行われた県民参加の森林づくりの下見でかながわトラストみどり財団から要望のあった本研修会での間伐対象木や伐倒するときの地際の高さの注意点などの説明を受けた。



次に統括リーダーの 11 期真貝さんから、各人の参加目的や目標を班メンバーで共有してから作業するよう指針が示され、準備体操をしてから 3 班に分かれて作業エリアに入り、1 班 3 本、2 班 2 本、3 班 3 本の計 8 本を伐倒した。

作業中は、伐倒方向の精度の向上を意識すること、受け口と追い口の作り方、スギとヒノキの違いを意識したツルの残し方とロープを引くタイミングなど一つ一つの作業を

確認しながら技術習得を行うことができた。

作業を終えた後の意見交換会では参加者一人一人から、各作業を基礎から学びなおすことができた、間伐活動インストラクターの前に練習ができた、いろいろな方法でかかり木処理を行ってみることができた、人の行っている作業を見て勉強になった、集合までの余った時間でデモによる三倍力でロープを引くためのブルージックの作り方の説明を受けて勉強になったなどの感想があり、怪我無く、ヒヤリハット事項も無く、各々満足感を得て活動を終えることができた。

(記 鈴木 圭一⑱、写真 真貝 勝⑪)



シリーズ 『やま』の色々

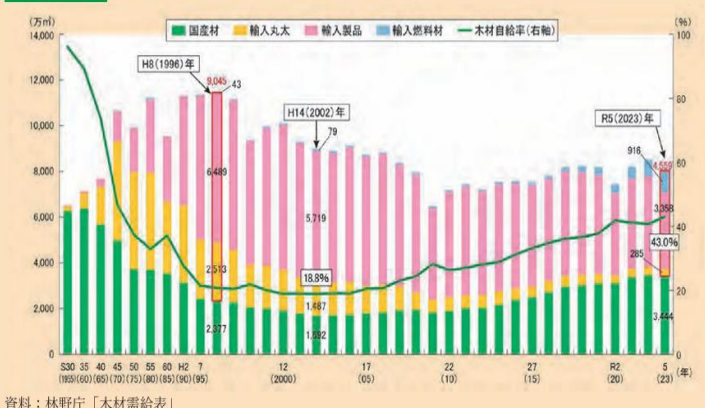
植樹造林の始まりは大変古いものです。昔の人だって、先の覚束ない種子や小さなメバエに将来を託すよりも、少し大きな苗に育てたものを植えて初期競争を回避すれば、植えた木が早く育って収穫できることに早々と気付いたと思います(図1)。万葉集の柿本人麻呂の歌の「いにしへの、人の植(う)ゑけむ、杉(すぎ)が枝(え)に、霞(かすみ)たなびく、春は来(き)ぬらし」を引いて昔から植樹という作業があったというのが習わしですが、現在のようない事業的な植林は500年くらい前からで、幾多の記録が残るのが根拠と言われています。奈良時代、平安時代に遷都や戦乱が繰り返されて大量に木材が消費されて天然木は枯渇してきたのでしょうか。木材利用の最大の顧客は建造物や住宅だというのは今も変わりません。そのための材料として多量に建築材が必要なのは、これも今も変わりません。日本の林業の基本は建築材生産だと思います。



図1_スギ育苗畑
20120904
小林市宮崎県

第二次世界大戦後建物や住宅が壊され焼かれて荒廃した日本各地の復旧のために求められた木材の需要は大変大きいものでした。外貨準備が少なく木材が輸入出来ないために国産材の需要が増加しました。工業生産の復旧拡大で外材輸入が自由化されたのが1960年、その後国産材の生産量は少しずつ減っていきませんが材木需要は外材も含めて増加が続いて、材価は1990年頃まで高値が続きその後急落しました(図2、図3)。現在まで続く国産材の材価低迷という現象ですが、日本の木材価格が諸外国に比べて高すぎた、それが国際標準価格になったというだけだ、という見解もあります。

資料Ⅲ-5 木材供給量と木材自給率の推移



資料：林野庁「木材需給表」

図2_1955(昭和30)年以降の木材供給量と自給率の推移
(2024年度森林林業白書より*)

第11回 人工林の来た道と行く道

公益社団法人 大日本山林会参与 桜井尚武 氏

木材の弱点に、① 火事に弱い、②地震に弱い、③耐久性が劣るというのがあります。戦後復旧した多くの街でこの弱点が露呈する事件が相次ぎました。これらの欠点を埋めるものとして鉄筋コンクリートや鉄素材を使う代替品が出てきました。最近ではプラスチックを多用する家屋や建造物なども出てきています。このような趨勢に対して、木材側は新たな製品や需要喚起の材料、市場開拓を提供できていません。現代の消費者は家や建築物が木材でなければいけないという嗜好は持っていませんから建築物素材としての基本という地位が失われたというのが今の材価低迷の根本的理由でしょう。消費者は鉄やコンクリートで満足している、少なくとも不平がないのです。

資料Ⅲ-8 我が国の木材価格の推移

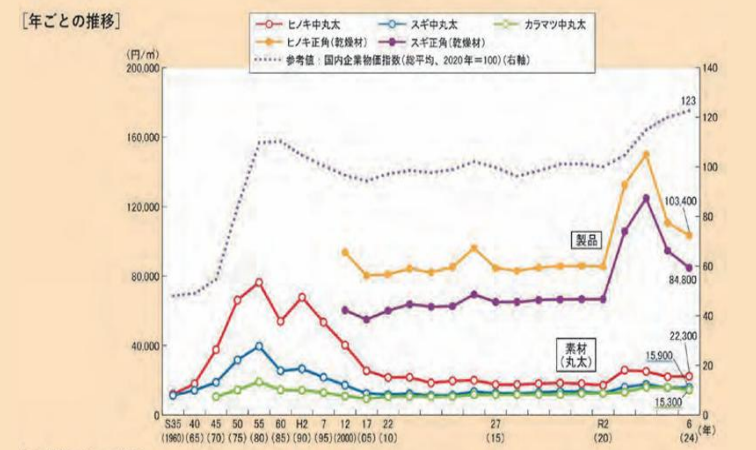


図3_1960(昭和35)年以降の木材価格の推移
(2024年度森林林業白書より*)

それでも木材には色々な魅力があり価格的にも認められるものだと思いますので、その価値のわかる人に供給する、高い安いの価格競争に走らずに、顧客に満足を提供するという原則に戻って、いいものだという価値効果を説明する、木材生産者は大量生産大量規格品提供に走らない、相対(あいたい)で説明し生産して提供することに尽きるのではないかと思います(図4)。



図4_つつじ茶屋
20220325
六義園駒込

*2024年度森林林業白書

令和6年度 森林・林業白書(令和7年6月3日公表)：林野庁

桜井先生のご執筆内容にご感想やご質問がありましたら先生のアドレス hayachines@yahoo.co.jp にお送りください！

活動短 信

今回の掲載は R7 年 9 月 27 日から R7 年 11 月 3 日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

12 月(師走)(旧暦 11 月 霜月)の
二十四節気、七十二候、鳥こよみ

大雪 12/7 冬至 12/22、熊蟄穴(くまあなにもこもる 12/12~12/16) 熊が穴に入って冬ごもりするころ。そろそろ令和の熊騒動に休息の時間が訪れるのでしょうか? 鳥こよみ: カケスは木の実などを貯食する習性があるので、秋になるとドングリを咥えて飛ぶ姿を見ることがあります。英名の Jay はジェーイと鳴くことに由来。この秋は、トロントの青いカケス Blue Jays 対 Dodgers の熱戦に日本も熱狂しました。

活動短 信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
本文と写真は作成せずに送付してください。送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付:令和 x 年 x 月 x 日(曜日)時間、天気
場 場所:例 相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者:人数
県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財 (公財)かながわトラストみどり財団、☐ 看護師
ス 例 小田原市森林組合 XX 様
例 川崎市公園緑地協会・XX 様
イ インストラクター① (○数字:期) ☐ 研修梓
活 活動内容: 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察

◆ 伯東株式会社「第 19 回森林活動」

日 令和 7 年 10 月 11 日(土) 10:00~12:00 雨
場 県立 21 世紀の森
参 14 名
イ L 三浦①⑦、西出①②、高谷①⑦
活 森林館資料室見学と森林講話、丸太切り(雨天のためハシゴを使った枝打ち中止・活動内容変更となる)

◆ アコム株式会社様

アコムの森(神奈川) 竹林保全活動

日 令和 7 年 10 月 12 日(日) 10:00~13:00 曇り
場 堀山下水源公有林(宇久保附)
参 15 名
県 水源環境保全課 村松様
イ L 田島①⑦、野牛⑧、山口①⑧
活 午前午後 竹林整備

◆ 県民参加の森林づくり活動

日 令和 7 年 10 月 12 日(日) 9:00~13:30 曇り
場 小田原市久野(水垂)
参 53 名
財 倉野様、古舘様 ☐ 増田様
ス 小田原市森林組合 佐藤様、他 1 名
イ L 斉藤①③、水口⑨、湯浅①①、西出①②、大原①③、
古舘①③、大見①⑤、永田①⑥、内田①⑦、文原①⑦、
松原①⑦、伊藤①⑧、田中①⑧、堤①⑧、中島①⑧、廣瀬①⑧
活 スギ・ヒノキ人工林の枝打ち



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 回胴式遊技機商業協同組合(略称:

回胴遊商) やどりき水源林内の森林整理

日 令和 7 年 9 月 27 日(土) 10:40~12:30 曇り
場 やどりき水源林
参 73 名(大人 53 名、子ども 20 名)
県 村松 GL 様
イ L 森本⑤、安部⑤、山崎⑦、真貝①①
活 林内整理(下刈り)

◆ 日本石油輸送株式会社様

日本石油輸送 森林整備活動

日 令和 7 年 10 月 4 日(土) 10:00~13:00 曇り
場 堀山下水源公有林(宇平戸)
参 16 名
県 水源環境保全課 藤原様、星様
イ L 田島①⑦、野口①⑦
活 午前 林内整備

◆ 公益財団法人鎌倉市公園協会

令和 7 年度 緑のレンジャー講座 第 4 回

日 令和 7 年 10 月 18 日(土) 10:00~14:30 晴れ
場 鎌倉市 散在ガ池森林公園
参 15 名
財 なし 鎌倉市公園協会_内田様、住友様
イ L 鈴木①⑦、國弘①④、桑島①⑧
活 午前: ヤブツバキ(直径 8~10 cm) 間伐、合計 6 本
伐倒、午後: 庭木の剪定講習、ロープワーク講習

◆ 横浜市立洋光台第三小学校 間伐体験学習

日 令和 7 年 10 月 19 日(日) 13:00~15:00 雨
場 愛川ふれあいの村(体育館)
参 5 年生 2 クラス 45 名、先生 5 名
財 倉野様
イ L 牧石①④、久次米①⑥、松浦①⑥、森本①⑦、鈴木①⑧、
田中①⑧
活 午後 雨天のためコースター作り

◆ MHI パワーエンジニアリング様

「未来」に繋げるMHI パワーエンジニアリングの活動

日 令和 7 年 10 月 19 日 (日) 9:40~14:45 曇り

場 県立 21 世紀の森

参 23 名 (大人 21 名 子供 2 名)

県 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
山田副技官

イ L 石垣⑮、上田⑩、岡村⑯、小国⑰、三浦⑰

活 午前 間伐、午後 自然観察

◆ NGK フィルテック株式会社様・森林活動

日 令和 7 年 10 月 25 日 (土) 9:30~11:20 小雨

場 やどりき水源林

参 25 名 (大人 17 名 子供 8 名)

イ L 内田⑰、大谷⑰、田島⑰、伊藤⑱、藤巻⑱

活 自然観察、どんぐりクラフト&丸太切り

◆ ENEOS 株式会社 川崎製油所様

ENEOS 미래の森活動

日 令和 7 年 10 月 25 日 (土) 10:00~12:00 雨

場 県立 21 世紀の森

参 49 名 (大人 44 名 子供 5 名)

県 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
野口技師、星主事イ L 岡村⑯、上田⑩、上宮田⑪、大川⑱、川口⑱、
田中⑱、渡邊⑱

活 丸太切り、自然観察、展示館見学、木工工作

かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。

かながわの水源環境の
保全・再生をめざしてhttps://twitter.com/kanagawa_sizuku

◆ 活動団体 日産トレーディング株式会社様

やどりき水源林で雨天プログラム(クラフトとミニ観察)

日 令和 7 年 10 月 26 日 (日) 10:00~15:00 曇り

場 やどりき水源林(丸太置き場・集会棟・休憩棟)

参 24 名 (大人)

イ L 上宮田⑪、石井裕⑮、広浜⑰、伊藤⑱、大川⑱、
山口⑱

活 午前:クラフト(丸太切り・スワッグ・どんぐりクラフト)、午後:広場周辺と滝郷の滝へのミニ観察会(木伝道体験)

◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社様 研修生向け プリウス森木会

日 令和 7 年 10 月 31 日 (金) 11:00~15:00 曇り

場 県立 21 世紀の森

参 17 名 (大人 17 名)

県 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
野口技師、星主事

イ L 岡村⑯、滝澤⑤、上宮田⑪、牧石⑭

活 午前 間伐、午後 展示館見学、木工工作

◆ アルファ・ラバル株式会社様

自然観察 木工工作

日 令和 7 年 11 月 1 日 (土) 10:30~14:30 曇り

場 県立 21 世紀の森

参 14 名 (大人 11 名 子ども 4 名)

イ L 石垣⑮、岡村⑯

活 午前 自然観察、午後 木工工作

◆ 街頭キャンペーン川崎(かわさき市民祭り会場)

日 令和 7 年 11 月 1 日 (土)、2 日 (日)、3 日 (月・祭)
10:00~16:00、各日 晴れ

場 川崎競輪場・西スタンド 2F

参 344 名 (11/1:103、11/2:140、11/3:101)

イ 11/1 (土):L 森本⑤、菊地①、安部⑤、小笠原⑩、
松本⑪、山崎⑫、大原⑬、内田⑰、小国⑰、伊藤⑱、
藤巻⑱11/2 (日):L 森本⑤、牛島①、相馬⑤、安部⑤、
山崎⑦、草野⑧、山崎⑫、江頭⑬、小野⑮、小国⑰、
小池⑰、田中⑱11/3 (月・祭):L 森本⑤、井出①、相馬⑤、安部⑤、
草野⑧、松本⑪、山崎⑫、大原⑬、小池⑰、平出⑱、
藤巻⑱

財 11/1:古舘様、11/2:江坂様、11/3:倉野様

ス 11/1, 3:シュロバッタ講師 師井様

活 水源事業 PR(紙芝居・クイズ・水源涵養機能実験)、
丸太切り、シュロバッタづくり緑の募金
シンボルマーク緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃんかながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取
組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

かながわ水源の森林づくり・神奈川県ホームページ

2025 年度 森林探訪

主催：NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会

自然に親しみながら、森林を中心とした自然に対する理解を深めていただく、
森林インストラクターが案内する自然観察会です。

1. 円海山・大丸山から鎌倉へ

横浜のオアシス円海山エリアから、大丸山、天園を経て鎌倉宮に下ります。富士山の眺望を楽しみながら、気持ちの良い木漏れ日の中を歩きませんか。

開催日：2025 年 4 月 20 日(日) 申込締切：4 月 16 日

集合：9:00 JR 根岸線港南台駅改札前

解散：鎌倉宮 15:00 バスまたは徒歩で鎌倉駅へ

コース：港南台駅 - いっしんどう広場 - 大丸山 - 横浜自然観察の森
- 天園 - 瑞泉寺 - 鎌倉宮

歩行距離：10km 標高差 約 120 m



2. 津久井湖城山公園を巡る (共催：丹沢大山自然再生委員会)

戦国時代の山城「津久井城」の遺構や、豊かな自然と、津久井湖や周囲の山々の眺望が広がります。

開催日：2025 年 11 月 22 日(土) 申込締切：11 月 18 日

集合：9:00 JR 橋本駅改札前 バスで津久井湖観光センター前へ

解散：15:00 津久井湖観光センター前バス停 バスで橋本駅へ

コース：津久井湖城山公園 (城山山頂、パークセンターを含み散策)

歩行距離：6km 標高差：250m



3. 聖峰と塔の山緑地公園 (共催：丹沢大山自然再生委員会)

山と雑木林や、里地里山の自然を満喫し、保国寺や、相模国三ノ宮の比々多神社などを訪れます。

開催日：2026 年 1 月 31 日(土) 申込締切：1 月 27 日

集合：9:20 小田急伊勢原駅改札口 栗原行きバスに乗り保国寺前で下車

解散：15:00 神戸バス停 伊勢原駅か鶴巻温泉駅へ

コース：保国寺前 - 聖峰 - 塔の山緑地公園 - 比々多神社 - 神戸バス停

歩行距離：7km 標高差：340m



4. 高松山の眺望と早春の河津桜 (健脚コース)

丹沢低山ハイクです。爽やかなスギ、ヒノキの水源林、富士山と相模湾を一望できる絶景、
そして見頃の河津桜が楽しめます。

開催日：2026 年 3 月 1 日(日) 申込締切：2 月 25 日

集合：8:10 小田急新松田駅 8:25 発のバスで高松山入り口へ

解散：15:30 西平畑公園 徒歩またはバスで新松田駅へ

コース：高松山入口 - 高松山 - 第六天 - 最明寺史跡公園 - 西平畑公園

歩行距離 14km 標高差：650m



定員：50 名 (先着順) 参加費：1,500 円 (当日徴収) 雨天実施 (荒天中止)

持ち物：昼食、飲み物、雨具、シート、ハイキングのできる服装

<申し込み>：NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

1) QR コードで (会の HP から)

2) e-mail：kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp へ

3) 〒243-0018 厚木市中町 2-13-14 サンシャインビル 604 へ往復はがきで
森林探訪名、参加者全員の氏名・年齢・電話番号・住所を記載してください。

お問い合わせ：TEL 080-8712-3804 担当 西岡

